

平成 27 年度 冬季拡大勉強会(冬季セミナー)のご案内

平成 27 年 12 月 10 日

テーマ：21 世紀型能力を育む理科の問題解決

日本初等理科教育研究会では、これまで、理科において育てたい資質・能力を教科領域固有の能力目標として提案してきました。しかし、国立教育政策研究所教育課程研究センター報告書が示す「21 世紀型能力」のように教育課程全体で共通して育てる汎用的な能力としての提言は十分だったとは言えません。また、単元構成や教材の開発、指導方法なども、具体的な実践事例とともに提案してきましたが、基礎力に提示された、数量スキルや情報スキルなどを意識した提案は少なかったと思います。

そこで、今年度の研究企画部研究テーマを、「21 世紀型能力をはぐくむ理科の問題解決」とし、理科の不易を大切にしつつ、時代が求める新たな理科教育のあり方を提案していきます。21 世紀型能力をはぐくむ理科授業とは、どのような授業でしょうか。ぜひ、参加者全員で考えてみたいと思っています。

参加者全員で考える授業づくりの流れ（今年度も 3 グループに分かれて行います）

I 問題把握



3 人の提案者から、それぞれの単元についての問題意識を発表します。そして、「意味理解」を促す授業づくりにするための方策について提案をします。参加者で授業の方向性について検討します。

II 教材研究



提案者からの問題意識を基に、どのような授業を行えば良いのか教材研究をします。様々な教科書を比較したり、参加者のこれまでの実践を交流したりして内容を詰めていきます。

III 指導案作成



教材研究して、単元の流れや本時の展開を考えて指導案を作成します。指導案を作成することで、参加者全員で授業の展開や意図を共有することができます。指導案だけでなく、授業に必要な教材を作成することもあります。

IV 模擬授業



作成した指導案に沿って、筑波大学附属小学校の 3 名の先生が模擬授業を行います。自分たちの作成した指導案を基に、指導力のある筑波大学附属小学校の先生方の模擬授業を見ることができます。

- 1 主催 日本初等理科研究会
- 2 期日 平成27年12月26日(土) 9:00受付 9:30開会 17:00閉会
27日(日) 8:30受付 9:00開会 12:30閉会
- 3 会場 筑波大学附属小学校 文京区大塚3-29-1 (東京メトロ丸の内線茗荷谷駅)
- 4 参加費 会員:3000円 一般:4000円 学生:2000円 *事前の申し込みはいりません。
- 5 問い合わせ先 筑波大学附属小学校 日本初等理科研究会事務局 (TEL&FAX 03-3946-1907)
- 6 日程および内容

第1日目 12月26日(土) 9:00~17:00

9:00	9:30	9:45~11:45	昼食	13:00~14:15	14:25~15:40	15:55~17:00
受付	開会行事	参加者全員で考える授業づくり① (問題把握・教材研究) ①白岩先生グループ 白岩等 (筑波大付属小) <第1理科室> ②佐々木先生グループ 佐々木昭弘(筑波大付属小) <第2理科室> ③鷺見先生グループ 鷺見辰美 (筑波大付属小) <社会科教室>		実践提案		
			4年・物の温まり方 小安 猛倫 千葉県千葉市立宮崎小	4年・温度と体積、物の温まり方 福地孝倫 広島大学附属東雲小	5年・物の溶け方 森田和良 筑波大学附属小崎小	
				6年・太陽と月の形 舘英樹 北海道日高町立日高小	3年・電気の通り道 納田健太 香川県立五色台少年自然センター	4年・空気と水 温度と体積 辻 健 筑波大学附属小

懇親会 12月26日(土) 「仙鶴楼」 17:30~

第2日目 12月27日(日) 8:30~12:30

8:30	9:00~10:30	10:40~12:15	~12:30
受付	参加者全員で考える授業づくり② (指導案作成・授業準備)	参加者全員で考える授業づくり③ (模擬授業)	閉会行事

【昨年度の様子】



実際に、実験をしながら教材研究をしました。



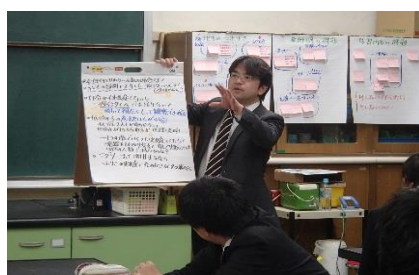
授業で使う教材づくりをしました。



初日が終わった後の懇親会では全国の仲間と交流しました。



同じ単元でも、教科書を比較すると扱いが違っていました。



提案された内容について、グループで協議し話し合いを深めました。



実践提案では、全国の力のある先生方の実践の提案がありました。